



令和2年7月21日

環境政策課

(内 2347)

令和元年度ダイオキシン類環境調査結果について

令和元年度ダイオキシン類環境基準監視調査の結果、大気、水質、底質及び土壌について、全ての調査地点において環境基準を達成していました。

1 令和元年度及び過去の調査結果の範囲

(単位 大気：pg-TEQ/m³ 土壌・底質：pg-TEQ/g 水質：pg-TEQ/l)

調査対象		令和元年度	(参考) 平成12 ～30年度	環境基準
大気		0.0039 ～ 0.018	0.0035 ～ 0.14	0.6 以下
水質	河川	0.076 ～ 0.55	0.027 ～ 2.8	1 以下
	海域	0.070 ～ 0.081	0.018 ～ 0.49	
底質	河川	0.13 ～ 13	0.075 ～ 25	150 以下
	海域	1.4 ～ 4.2	0.075 ～ 22	
土壌		0.0023 ～ 0.65	0.0030 ～ 8.9	1,000 以下

2 環境基準監視調査結果

(1) 大気 (単位：pg-TEQ/m³)

採取場所	調査結果			環境基準
	夏期	冬期	平均	
四国中央市	0.0080	0.0043	0.0062	0.6以下
新居浜市	0.0056	0.0054	0.0055	
西条市	0.0085	0.0054	0.0070	
今治市	0.015	0.0049	0.010	
八幡浜市	0.0036	0.0041	0.0039	
宇和島市	0.011	0.024	0.018	

(2)水 質 (単位 : pg-TEQ/l)

種 類	採取場所	調査結果		環境基準値
		調査	平均	
河 川	宮川 (四国中央市)	0.076	0.076	1以下
	大明神川 (西条市)	0.084	0.084	
	三島橋 (大洲市)	0.17	0.17	
	広江川 (西条市)	0.27~0.83	0.55	
海 域	新居浜海域 ST-1	0.070	0.070	
	今治海域 ST-5	0.079	0.079	
	宇和島・津島海域 ST-3	0.081	0.081	

(3)底 質 (単位 : pg-TEQ/g)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	宮川 (四国中央市)	0.39	150以下
	大明神川 (西条市)	0.13	
	三島橋 (大洲市)	0.22	
	広江川 (西条市)	13	
海 域	新居浜海域 ST-1	4.2	
	今治海域 ST-5	1.4	
	宇和島・津島海域 ST-3	3.9	

(4)土 壤 (単位 : pg-TEQ/g)

採取場所	調査結果	環境基準値
四国中央市土居町	0.15	1,000以下
新居浜市王子町	0.24	
西条市小松町	0.023	
今治市松木	0.026	
東温市田窪	0.051	
南宇和郡愛南町中浦	0.65	

(備考) 各検体の採取年月日

大 気	夏 期 : 令和元年8月2日 ~ 令和元年9月5日 冬 期 : 令和2年1月9日 ~ 令和2年2月7日
水質及び底質	令和元年5月30日 ~ 令和元年12月4日
土 壤	令和元年10月15日 ~ 令和元年11月28日

(参考)

1 調査対象及び調査地点数

調査対象	環境基準監視調査	
	調査地点数	検体数
大 気	6	12
水 質	河 川	4
	海 域	3
底 質	河 川	4
	海 域	3
土 壤	6	6
合 計	26	33

備考 大気については年2回(夏・冬)、その他については年1回実施。
ただし、広江川の水質調査は年2回実施。

2 ダイオキシン類濃度の単位について

○p g (ピコグラム) : 1兆分の1グラムを表す単位

○TEQ (毒性等量) : ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの量に換算した値であることを示す

3 ダイオキシン類に係る環境基準について

媒 体	基準値
大 気	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
水 質 (水底の底質を除く。)	1 pg-TEQ/l以下
水底の底質	150 pg-TEQ/g以下
土 壤	1000 pg-TEQ/g以下

○大気及び水質(水底の底質を除く。)の基準値は、年間平均値とする。

○土壌にあつては、環境基準が達成されている場合であつて、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

4 毒性等量算定の際、定量下限値未満の数値の取扱いについて

○大気、水質及び底質

定量下限値未満、検出下限値以上の数値は、そのままの値を用い、検出下限値未満の数値は、検出下限値の1/2を用いて、各異性体の毒性等量を算出する。

○土 壤

定量下限値未満の数値は、ゼロとする。